

令和3年6月30日

大型公共施設建設調査特別委員会

健康福祉部病院管理課

浜松医療センター新病院整備事業について

1 これまでの経緯

資料1

2 浜松医療センター新病院整備事業の概要

資料2

これまでの経緯

平成 24 年度

◆平成 24 年 9 月 「浜松市新病院構想」策定

⇒公立病院像を明らかにする中で、その実現に必要な施設のあり方等の検討結果をまとめたもの（H23. 9～H24. 9、検討委員会 6 回）

平成 25 年度

◆平成 26 年 1 月 「浜松医療センター新病院建設構想」策定

⇒新病院の基本理念、重点機能や、施設規模、事業費、収支シミュレーション等の検討結果をまとめたもの（H24. 10～H25. 12、検討委員会 6 回）

平成 26 年 1 月～11 月 市議会新病院建設特別委員会による審議等

⇒「浜松医療センター新病院建設構想」に係る内容について審議（委員会 6 回、協議会 3 回、現地視察 1 回）

平成 26 年度

◆平成 26 年 12 月 市議会新病院建設特別委員会委員長による中間報告

⇒『将来にわたり持続可能な経営基盤を確立し、地域から求められる公的医療を安定的、かつ、市民満足度の高いレベルで提供できるよう十分配慮』
⇒『事業の進捗について、逐次、状況を報告していただくとともに、その後の状況変化への対応については、その都度議会と協議するよう求める』などの附帯意見を附した上で、建設事業を進めていくことについて了承

平成 27 年 5 月～平成 31 年 3 月 市議会新病院・新清掃工場建設調査特別委員会による審議等

⇒新病院建設事業の進捗状況の報告、医療センターの経営状況などを協議（H27 委員会 4 回、協議会 1 回）（H28 委員会 5 回、協議会 2 回）
（H29 委員会 4 回、協議会 3 回）（H30 委員会 4 回、協議会 3 回）

平成 27 年度

◆平成 27 年 12 月 新病院整備事業基本設計の契約締結

⇒プロポーザルにより、久米・竹下設計等特定共同企業体と契約

平成 28 年度

◆平成 28 年 12 月 発注方式の選択とエネルギーサービスの導入

⇒建設構想で示したデザインビルド（DB）方式から、東京五輪等による建設コスト増を抑えるため、実施設計の発注段階から施工業者と設計協力を結ぶ（ECI）方式に変更

⇒また、コスト削減と省エネを図るため、エネルギー設備の設置から管理までを委託するエネルギーサービス（ES）事業を導入

◆平成 29 年 3 月 新病院整備事業基本設計の完了

⇒基本設計の概要（面積・各階の配置・駐車場など）を公表

平成 29 年度

◆平成 29 年 5 月～9 月 ECI 手法の検討

⇒ECI 方式を採用するにあたり、大手ゼネコンから、過去の ECI 発注事例等をもとに、これまでの課題などを確認するため、ヒアリングを実施

◆平成 29 年 10 月 基本設計や事業費の変更

⇒新棟 3 階の ICU 病床数の増や渡り廊下等の活用などの変更、単価アップや面積増、敷地条件（がけ・液状化対策）、送電線下工事など特殊事情による事業費の増額

◆平成 29 年 10 月 新病院整備事業設計協力業務等事業者の公募

⇒プロポーザルにより、設計協力業務を委託する施工予定者及びエネルギーサービス事業を委託する事業者を公募

◆平成 30 年 1 月 新病院整備事業実施設計業務委託の契約締結

⇒久米・竹下設計等特定共同企業体と契約

◆平成 30 年 3 月 設計協力業務を委託する施工予定者を条件付で決定

⇒清水建設株式会社（条件:3 ヶ月程度、契約を留保）

◆平成 30 年 3 月 エネルギーサービス事業者の決定

⇒株式会社シーエナジー

◆平成 30 年 3 月 プロポーザルに関する契約手続きの中止

⇒3 月 29 日、浜松市工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱（独占禁止法違反行為）に基づき、入札参加停止となったため、プロポーザルに関する契約手続きを中止

平成 30 年度

◆平成 30 年 9 月 病院整備事業設計協力業務事業者の公募

⇒プロポーザルにより、設計協力業務を委託する施工予定者を公募

◆平成 31 年 3 月 設計協力業務を委託する施工予定者の決定

⇒清水建設株式会社

◆平成 31 年 3 月 整備後の 1、2 号館の取り扱いについて

⇒『1、2 号館は、整備事業完了時点で築後 50 年以上経過し、建物・設備の老朽化により、多額の維持管理費が発生することなどから解体し、跡地については、外来駐車場の混雑緩和、職員用駐車場の借地解消のため、駐車場整備を軸に調整する』旨、特別委員会に報告

令和元年度

◆令和 2 年 1 月 3 号館等の改修範囲の見直し、緩和ケア病棟の設置

⇒老朽化した設備（空調・給排水等）の全面改修、エレベータの改修等の実施を追加

⇒3 号館 9 階に緩和ケア病棟を整備することを報告

令和 2 年度

◆令和 2 年 9 月 新病院整備工事（新病院棟工事）の契約締結、工事着手

⇒清水・須山・中村組特定建設工事共同企業体と契約

⇒令和 5 年 10 月建物完成、令和 6 年 1 月開院予定

浜松医療センター新病院整備事業の概要

1 新病院建設構想[平成 26 年 1 月]

(1) 新病院の基本理念・基本方針

- ・ 基本理念 「安全・安心な、地域に信頼される病院」
- ・ 基本方針
 - ・ 地域医療の確保
 - ・ 医療水準の向上
 - ・ 患者中心の医療の確立
 - ・ 安全管理の徹底
 - ・ 健全運営の確保

(2) 新病院の果たすべき役割

- ・ 地域医療の基幹病院として、救命救急に対応したハイパー急性期医療とともに、地域包括ケアシステムにも対応した公立病院としての役割を果たす。
- ・ 今後、県が策定する地域医療構想における医療供給体制との調整を行う。

2 施設概要

・ 構造・延面積

新病院棟	RC+S 造	地上 7 階+PH2 階、基礎免震構造	約 39,350 m ²
3 号館	SRC 造	地上 9 階+地下 2 階+PH 階 2 階	約 16,600 m ²
渡り廊下棟	SRC 造	地上 3 階+地下 1 階	約 2,900 m ² (増築含む)

- ・ 病床数 新病院棟 420 床、3 号館 186 床 計 606 床
(うち、救急病床 24 床、ICU 10 床、バースセンター 9 床
NICU 6 床、GCU 6 床、MFICU 6 床、感染症 6 床)

- ・ 主要設備 手術室 10 室 (うち、BCR 2 室、ハイブリッド手術室 1 室)
手術支援ロボット、ハイブリッド ER、MRI、CT、アンギオ、
リニアック、ヘリポート、非常用発電機、井水プラント

3 新病院整備工事 (新病院棟工事)

・ ECI 方式 (設計段階から施工者が関与する方式) を採用

東京五輪等による建設コスト増を抑えるため、実施設計の段階から施工者と技術協力を結び、施工面での工夫や特殊技術など施行者のノウハウを実施設計に反映する。

・ 工事契約内容

受注者	清水・須山・中村組特定建設工事共同企業体
工期	令和 2 年 9 月 28 日～令和 6 年 1 月 11 日
契約額	22,020,570,000 円 (税込) (令和 2 年度～令和 5 年度：債務負担)

・ 工事監理契約内容

受注者	久米・竹下設計等特定共同企業体
工期	令和 2 年 10 月 14 日～令和 6 年 1 月 11 日
契約額	191,400,000 円 (税込) (令和 2 年度～令和 5 年度：債務負担)

4 エネルギーサービス（ES）事業

コスト削減と省エネを図るため、エネルギーサービス事業者（ES事業者）が、市に代わって、エネルギー供給についての資金調達から設計・施工・運転・維持管理を契約期間（15年間で予定）実施する事業。契約期間中は、ES事業者が設備を所有し、契約満了後に市に無償譲渡予定。

- ・ ES事業者 株式会社シーエナジー
- ・ スケジュール 令和3年3月23日 基本合意締結
令和5年10月頃 事業契約（供用開始）

5 新型コロナウイルス感染症に対応するための修正設計

今後、新型コロナウイルス感染症と同様な新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが発生し、感染症病床6床のみでは対応できなくなった場合に備え、感染症病床を整備する3号館5階全体を感染症対応可能とするなど、現在の改修内容に対して修正設計を実施する。

- ・ 期 間 令和3年度～令和4年度
- ・ 予算額 11,000千円（令和3年度～令和4年度 債務負担）

6 既存施設(1、2号館)について

1、2号館は、整備事業完了時点で築後50年以上経過し、建物・設備の老朽化により、多額の維持管理費が発生することなどから解体し、跡地については、外来駐車場の混雑緩和、職員用駐車場の借地解消のため、駐車場整備を軸に調整する。

7 整備スケジュール（新病院棟 令和6年1月開院予定）

区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
本体建設工事		■			●			
3号館・渡り廊下棟改修工事		修正設計 ▨			■	●		
ES事業		施工 ▨			■			
1、2号館解体工事						■		
1、2号館解体跡地駐車場整備 渡り廊下棟増築工事								■

8 事業費内訳

(1) 本体等工事関連

(税込、単位:百万円)

項目	金額	備考
①本体建設工事費	23,409	新病院棟 (RC造一部S造 地上7階建 約39,350㎡) 立体駐車場棟 (S造 地上2階建 約2,810㎡) 上空連絡通路、キャノピー、駐輪場他
②3号館改修工事費	4,312	3号館 (SRC造 地上9階地下2階 約16,600㎡) ・内装仕上改修 ・エレベータ更新 ・仮設透析、感染病床整備 ・設備更新 ・設備幹線更新
③渡り廊下棟工事 (改修分)	499	渡り廊下棟 (SRC造 地上3階地下1階 約2,400㎡) ・内装仕上改修 ・設備更新
(増築分)	204	玄関ホール棟増築 (S造 地上3階建 約500㎡) ・玄関、トイレ、階段、エレベータ
⑤設計監理費	622	基本設計、実施設計、工事監理 新型コロナウイルス対応のための修正設計 (11百万円)
計	29,046	

(2) 医療機器等整備費

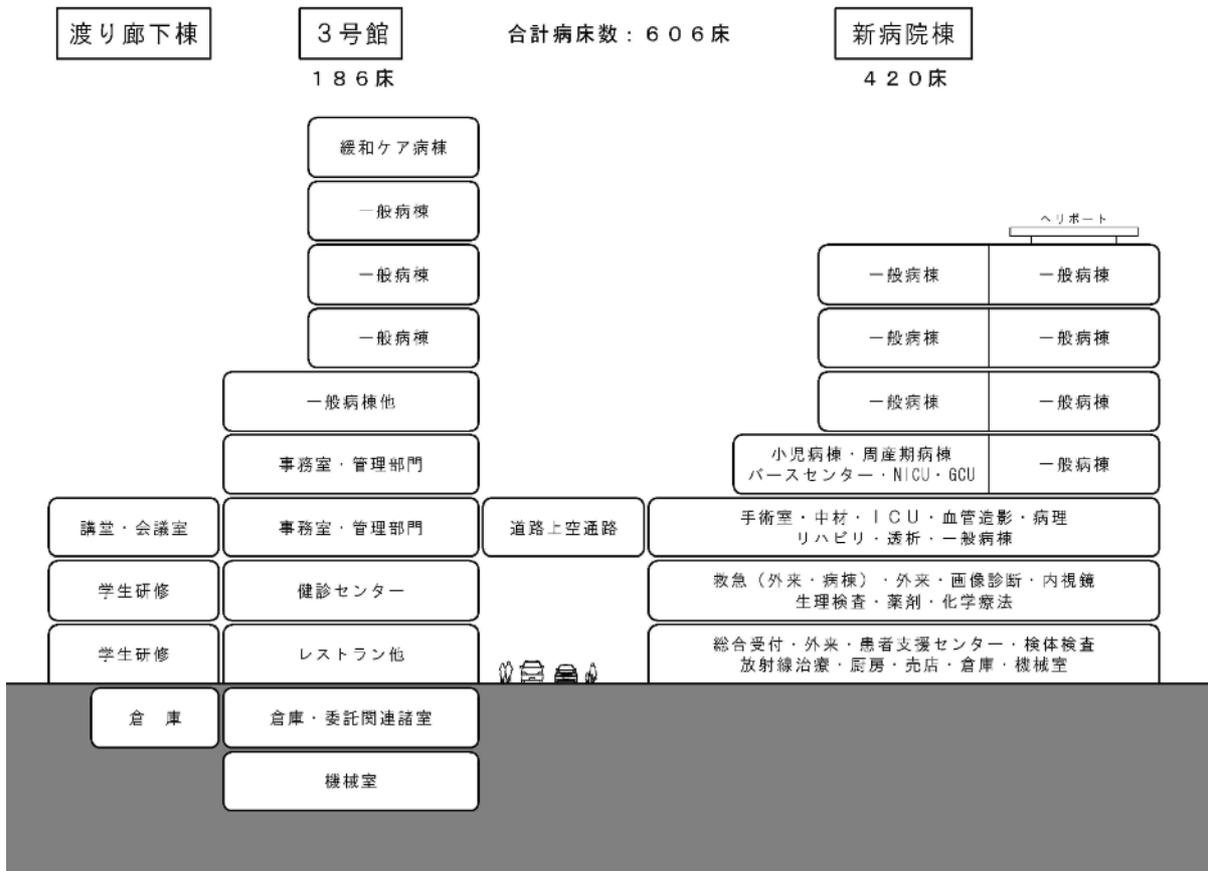
⑥医療機器等	5,657	
--------	-------	--

(3) 1、2号館解体工事等

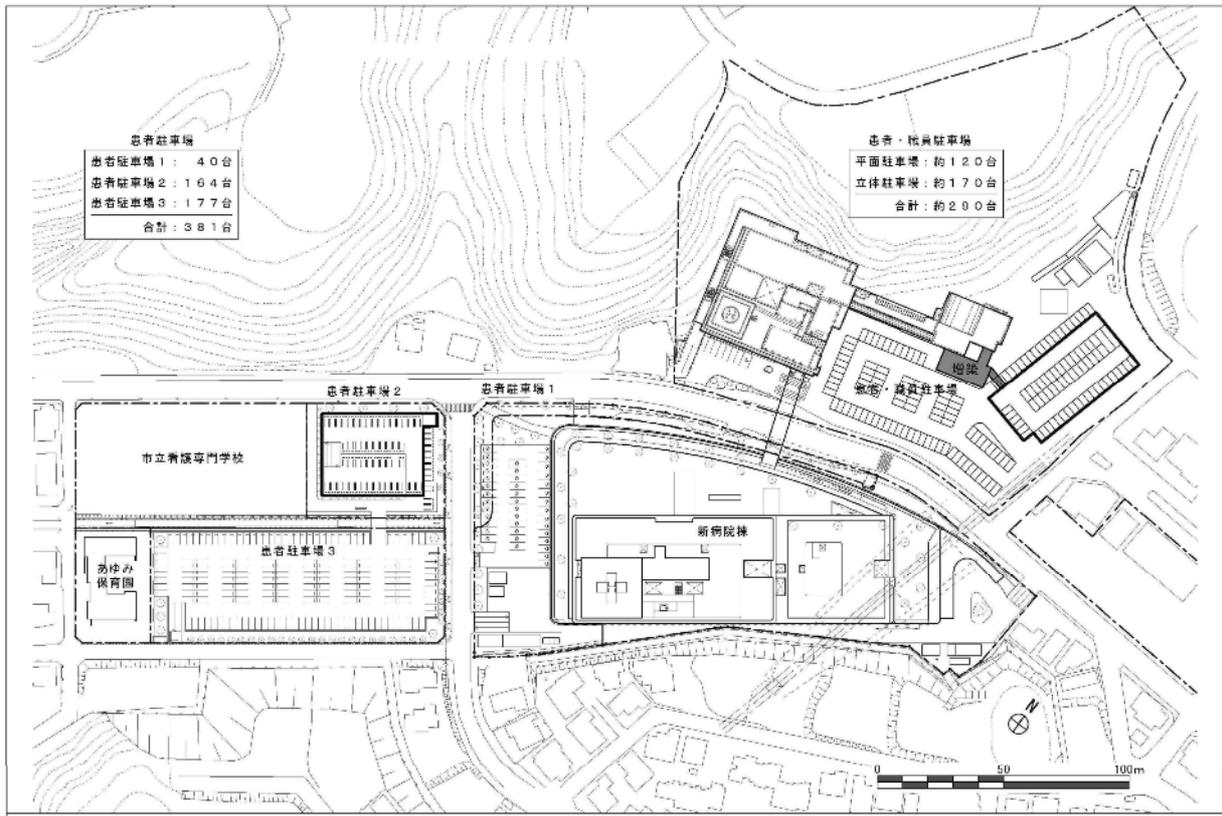
⑦1、2号館解体工事費	1,500	
⑧駐車場整備工事費	300	
⑨設計監理費	5	
計	1,805	

総事業費	36,508	
------	--------	--

9 階層構成のイメージ図



10 整備後の配置図（計画）



1 1 整備後のイメージ

